

# 令和5年度事業報告書

学校法人 開新学園

開新高等学校

熊本工業専門学校

ながみねこども園

ながみね乳児保育園

# 事業報告書

## 1 法人の概要

### (1) 設置する学校・学科・定員・現員数

#### ① 開新高等学校 (単位 人)

学 科 名	学 則 定 員				新年度員数(R6. 5. 1)			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
土 木 建 築 科	80	80	80	240	63	53	66	182
電 気 情 報 科	80	80	80	240	64	69	74	207
自 動 車 科	80	80	80	240	86	73	74	233
機 械 科	80	80	80	240	59	54	66	179
総 合 学 科	80	80	80	240	86	84	82	252
普 通 科	100	100	100	300	112	74	71	260
計	500	500	500	1500	470	407	436	1313

#### ② 熊本工業専門学校 (単位 人)

学 科 名	学 則 定 員			新年度員数(R6. 5. 1)		
	1年	2年	計	1年	2年	計
自動車整備工学科	80	80	160	82	26	108
電気システム科	40	40	80	25	16	41
機械システム科	40	40	80	12	6	18
日 本 語 科	40	40	80	29	37	66
計	200	200	400	148	85	233

#### ③ ながみねこども園 (単位 人)

内 訳	定 員	新 年 度 員 数 (R6. 5. 1)		
		1号	2号	3号
0歳児	—			12
1歳児	—			15
2歳児	—			20
3歳児	—	5	27	
4歳児	—	5	26	
5歳児	—	5	27	
計	135	15	80	47

## ④ながみね乳児保育園

(単位 人)

内 訳	定 員	新年度員数 (R6. 5. 1)
0歳児	—	0
1歳児	—	10
2歳児	—	10
計	19	20

## (2) 役員の概要

区 分	内 訳	現員 数	備 考
理事・評議員	学識経験者(含理事長)	3	寄付行為6条1項3号 2名 " 6条2項3号 1名
	校長・法人職員	1	" 6条1項1号
	法人職員	1	" 6条2項1号
	卒業生	2	" 6条2項2号
	育友会	1	" 6条2項4号
	元育友会	1	" 6条2項5号
評議員	法人職員	4	" 22条1項1号
	卒業生	3	" 22条1項2号
	学識経験者	1	" 22条1項3号
	育友会	2	" 22条1項4号
	元育友会	2	" 22条1項5号
監 事		2	" 8条1項

## 2 教職員の概要

## ①開新高等学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	専任教諭	63	
	養護教諭	1	
	常勤講師	37	
	専任助手	3	
	実習助手	2	
	英語指導助手	0	
	非常勤講師	6	
	カウンセラー	1	
事 務 職	専任事務	10	
	常勤事務	3	
そ の 他	守 衛	1	
	技師(用務員)	1	
	計	128	

② 熊本工業専門学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	専 任 教 官	6	
	常 勤 教 官	6	
	常 勤 教 官 (実習助手)	4	
	非 常 勤 講 師	26	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	専 任 技 師	0	
	常 勤 事 務	4	
	嘱 託	1	
	非 常 勤 事 務	1	
	計	46	

③ながみねこども園

区 分	職 名	人 員	備 考
技 術 職	副 園 長	1	
	専任主任保育教諭	1	
	専任保育教諭	10	
	常勤保育教諭	10	
	非常勤保育教諭	6	
	常勤准看護師	1	
	専任調理師	1	
	専任栄養教諭	1	
	常勤調理師	1	
	非常勤調理師	3	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	計	35	

④ながみね乳児保育園

区 分	職 名	人 員	備 考
	副 園 長	1	
	専 任 保 育 士	2	
	常 勤 保 育 士	3	
	非 常 勤 保 育 士	0	
	非 常 勤 調 理 師	0	
事 務 職	常 勤 事 務	0	
	計	6	

### 3 令和5年度事業報告(概要)

学園として社会のデジタル・AI化の進行や、TSMCに代表される半導体関連企業の熊本進出等の社会経済の動きを注視しながら、少子化・学校間競争の激化に伴う生徒・学生数の確保のため、学校・園の魅力発信を中心に事業展開を図った。

開新高等学校では、施設整備の一環として100周年記念会館に、保護者からの要望もありエレベーターを設置した。又、転退学者数増に歯止めをかけるべく、コロナ禍ではできなかった団体活動等に力を入れた。

熊本工業専門学校では、学生数の減少に伴い、長期に渡り赤字が続き理事会や監査報告で、再三指摘されてきた。令和5年度は、ドローンやAI、更には半導体講座の開設準備、広報活動・学生募集活動も地域的絞り込み強化。留学生は、ネパールからの増により学生数増につながったものの、工専全体としての赤字体質脱却にはつながっていない。

待機児童解消を図るといふ地域貢献を掲げ、平成26年4月に“ながみね保育園”、平成29年6月には“ながみね乳児保育園”を開設した。令和2年4月には、更なる地域貢献を目指し保育園を、幼保連携型の認定こども園「ながみねこども園」に移行させた。経営は順調であり、この流れを継続させる。

#### ■ 学園の取組み

##### 時代の要請に即応した経営方針の構築

- ・施設整備の充実
  - ICT教育の環境整備・新しい機械設備の導入、充実
- ・広報活動の強化
  - 広報手法の再構築
- ・魅力ある学校経営の推進
  - 教育・生徒指導体制、内容の充実
- ・信頼と感謝の学校運営
  - 生徒・保護者・地域住民との信頼関係構築
- ・地域貢献の推進
- ・学校評価制度の活用
  - 進学・就職実績・教育指導の評価、活用

## ■開新高等学校

### ① 魅力ある学校づくり

- (ア) 施設整備の充実・時代の要請に即応する新しい教材設備の導入
  - ・ギガスクール構想推進に伴うICT教育等の強化

- (イ) 学力の充実
  - ・進学率の向上
  - ・進学進路指導の徹底

- (ウ) 就職指導の徹底・学力向上、技能向上の指導
  - ・各種免許取得促進指導
  - ・キャリア教育の充実

- (エ) 国際交流学習の促進
  - ・姉妹校とのオンライン等による交流促進

- (オ) 教職員の研修体制の充実
  - ・教育力、指導力の向上
  - ・自己啓発の推進

- (カ) クラブ活動の奨励
  - ・健全な身体、精神の育成
  - ・コミュニケーション能力の育成

### ② 健全な心身の育成

- (ア) 自主独立の精神育成
- (イ) 人間尊重の精神育成
- (ウ) 誠実で勤勉な人物の育成
- (エ) カウンセリングの充実

### ③ 保護者との連携

- (ア) 積極的な学校活動への参加
- (イ) 生徒指導の連絡・情報の連携
- (ウ) 家庭訪問指導

### ④ 地域連携

- (ア) 地域社会への貢献
- (イ) ボランティア活動への積極的な参加
- (ウ) 学校開放

## ■ 熊本工業専門学校

### ① 学生募集の強化（最重要課題）

#### （ア）本科学生の確保

- ・開新高等学校工業科2年に対する進学説明会の開催
- ・留学生の確保（他県日本語学校訪問による連携強化）
- ・本県高等学校訪問の強化

#### （イ）留学生の確保（日本語科）

- ・斡旋機関（ベトナム・ネパール）との連携強化
- SNSによる連携（双方向による対話）

#### （ウ）広報の強化（テレビ・熊日新聞・YouTubeの活用）

### ② 学校活性化策

#### （ア）AI（人工知能）教育の実施

##### （イ）ドローンの実践

##### （ウ）SNS（Facebook）の活用による学校宣伝

##### （エ）留学生の日本語能力の向上（本科での日本語授業） 等

### ③ 各科の特色づくり

#### （ア）企業実習の実施

#### （イ）営業の出来る技術者養成

### ④ 職業教育の質向上（職業実践専門課程の充実）

## ■ ながみねこども園・ながみね乳児保育園

### 教育・保育方針

- ・興味や探究心を大切にし、集中力や学習力を育てます。
- ・相手の気持ちを思いやる心、譲り合う心を育てます。
- ・達成感を味わわせ、前に進む気力を育てます。
- ・のびのびと遊びたくなる環境を整え、健全な身体の発育を促します。
- ・栽培活動を通して食への感謝の気持ちを育てます。

